

154 おうづか こふん
王塚古墳



指定 市史跡 昭和61年9月10日
所在地 協和
所有者 比田井区



王塚古墳は、比田井の東向き斜面に突き出す低位な活状台地に位置している。昭和10年（1935）6月に長野県史跡名勝天然記念物に指定されたが、現在は解除されている。発掘調査はされていないが、6世紀中頃～7世紀初頭に比定される。

内部は横穴式石室になっている筈であるが、天井石と考えられる平板の大石が墳丘北側に運び出されている。墳丘は土盛と葺石で覆われ保存状態が良い。平地にある古墳としては望月地域最大のもので時期も他の平地にある古墳の中では古く位置づけることができる。王塚古墳は、「彦狭島王の御陵」という伝承があり日本書紀景行天皇55年条「東山道…春日穴咋邑 臥病而薨之」とあることを理由にしている。実際には、古墳の時期と彦狭島王の時期は300年以上もかけ離れており、古墳の方が新しい。